

アルミ樹脂複合板の欧州拠点の設立について

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都千代田区 社長：姥貝 卓美）は、主に内外装用建築材として使用されているアルミ樹脂複合板「アルポリック®」において、今後の需要の伸長が見込まれる欧州やトルコ・中央アジア地域をターゲットに、同事業としては初となる欧州（ドイツ ヘッセン州 ヴィースバーデン）に新たな製造・販売拠点を設け、2014年春に営業運転を開始いたします。

世界130カ国以上に販売実績を有し、アルミ樹脂複合板の世界ブランドとして認知されている当社の「アルポリック®」は、現在、日本の上田工場（長野県上田市）及び東京製造所（東京都青梅市）と、Mitsubishi Plastics Composites America社（米国 ヴァージニア州、以降 MPCA社）で製造を行っています。欧州やトルコ・中央アジア地域への販売については、現在、日本から輸出しておりますが、輸送に2か月以上必要となること、また為替変動の影響を大きく受けることから、欧州地域の販売を伸ばすことが困難でした。しかし、欧州各国はドイツを中心に建築材料の不燃基準が厳しく、不燃性に優れるグレードを有する「アルポリック®」にとっては拡販余地の大きな潜在市場であり、かつ東欧やトルコ・中央アジアは、近年の経済発展に伴う建築ラッシュが続く魅力的な市場です。

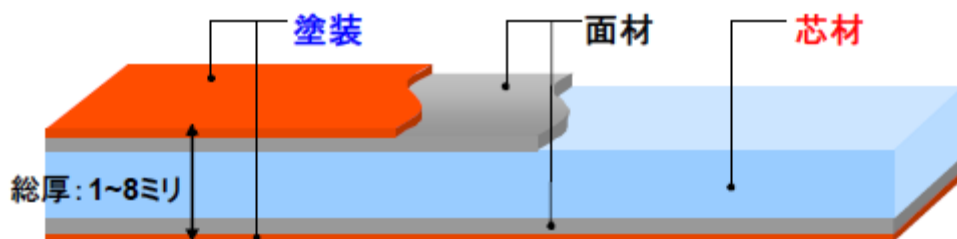
そこで当社は、ポリエステルフィルム[®]の製造販売を行う当社のグループ会社 Mitsubishi Polyester Film GmbH（以降、MFE社）が拠点を置くドイツ ヘッセン州 ヴィースバーデンの工業団地内に「アルポリック®」の新たな製造・販売拠点を設置することとしました。投資額は約20億円で、生産能力は、約150万㎡/年の予定です。今春から建設工事を開始し、MFE社とも連携しながら2014年春の立ち上げを目指します。

当社は、欧州の新拠点を活用し、優れた不燃性が求められる高付加価値市場や、東欧・トルコ・中央アジアなどの新興国市場での販売を拡大することで、アルミ樹脂複合板における世界トップメーカーを目指してまいります。

【新拠点の概要】

所在地	ドイツ ヘッセン州 ヴィースバーデン
生産開始	2014年 春
生産能力	150万㎡/年
敷地面積	5,300㎡

【 アルポリック®の構成図と特長 】



特長：①軽量で剛性に優れています。

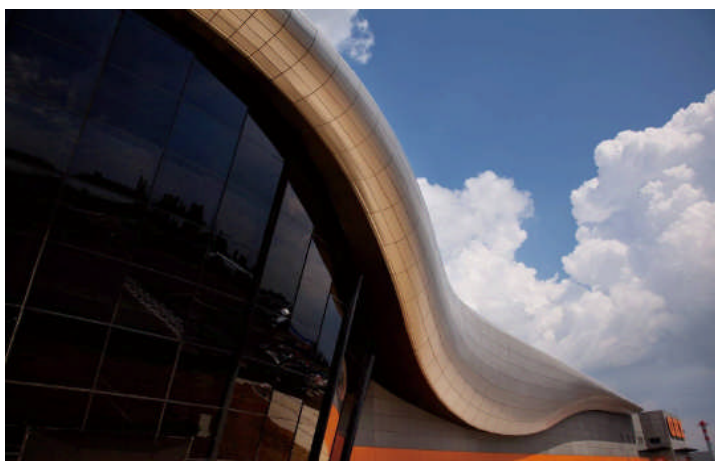
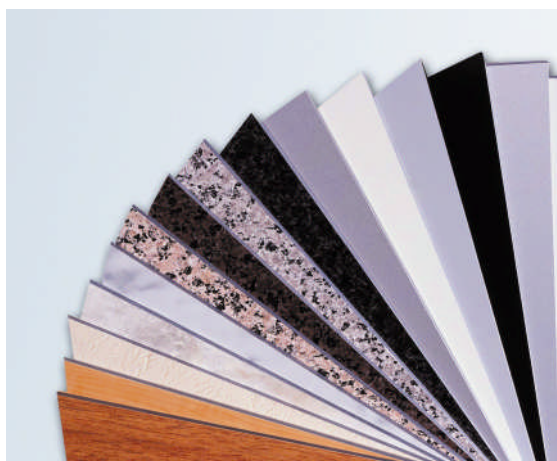
②平面性に優れています。

③加工（曲げ、折り、切断など）が容易です。

④不燃グレードは世界トップレベルの不燃性を有しています。

⑤世界130カ国以上での販売実績があります。

【 写真：左 アルミ樹脂複合板「アルポリック®」、右 施工例（ロシアのショッピングセンター） 】



本件に関するお問合せ先
(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話：03-6748-7140